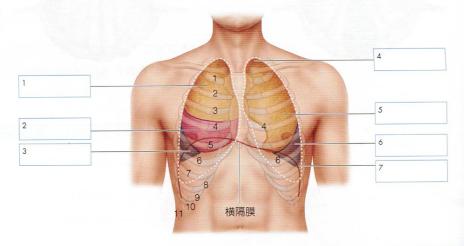


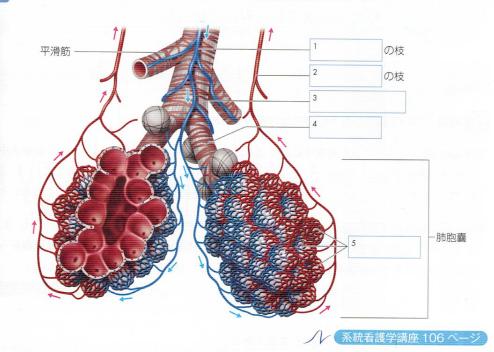
# ✓ 系統看護学講座 103 ページ

🎁 肺の構造を示した図である。 🔙 1~7 に各部の名称を書きなさい。

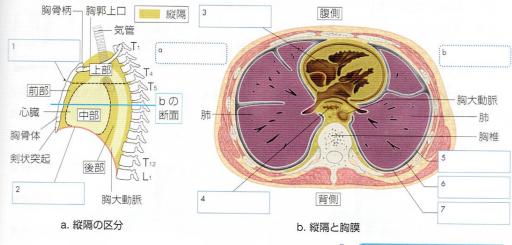


### ↑ 系統看護学講座 104 ページ

プ 肺胞の構造を示した図である。 \_\_\_\_ 1~5 に各部の名称を書きなさい。



- | 胸膜と縦隔の構造を示した図である。
- 1~7に各部の名称を書きなさい。
- ② b の図の a, b に, 「右」「左」のいずれか適切なほうを書きなさい。



√ 系統看護学講座 107 ページ

## 呼吸

### ↑ 系統看護学講座 解剖生理学 108~126ページ

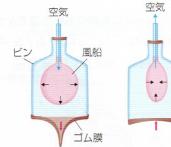
呼吸について説明した下記の文章の空欄を埋めなさい。

- ■外気から(1) を血液中に取り込み、体内で発生した(2) を血液中か ら体外へ排出するはたらきを(3)呼吸という。呼吸によって出入りする(1)と (2)をまとめて(<sup>4</sup> )とよび、これらが交換されることを(<sup>5</sup> )という。
- ■肺を経た血液は末梢に達し、毛細血管に入って、体組織との間で(5)を行う。(1) は血液中から出て組織の細胞に取り込まれ、細胞の代謝の結果生じた(2)は細胞から出 て血液中に移動する。末梢におけるこのような(5)を(6)呼吸という。

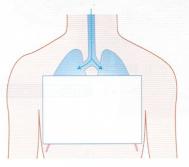
↑ 系統看護学講座 108 ページ

呼吸のメカニズムを示した図と文章である。

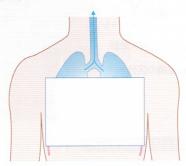
- ①呼吸のメカニズムは、下図のようなモデルで考えると理解しやすい。図を見ながら、下記の 文章の空欄を埋めなさい。
- ■人体ではゴム膜に相当する(1)が下がり、 ビンの内部に相当する(2)が陰圧と なり、風船に相当する(3)に空気が流入 する。これが(4)である。
- (5 )は、ゴム膜を引っぱっていた手を放し たときと同様に、これらの筋が(6)するこ とで生じる胸郭の弾性および(7)によ り、受動的におこる。



② a. 吸息時と b. 呼息時の横隔膜と肺を描きなさい。



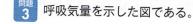
a. 吸息時

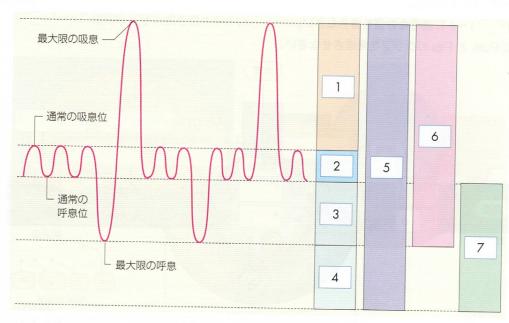


b. 呼息時



系統看護学講座 110~112 ページ





①上の図の 1~7 について、下の表に呼吸気量にかかわる名称を書きなさい。

94	名称		標準値の例
1	(1	)	約 2 L
2	(2	)	約 0.5 L
3	(3		約1L
4	(4	)	約1L

	名称	標準値の例
5	(5)	約 4.5 L
6	(6 )	約 3.5 L
7	(7 )	約 2 L

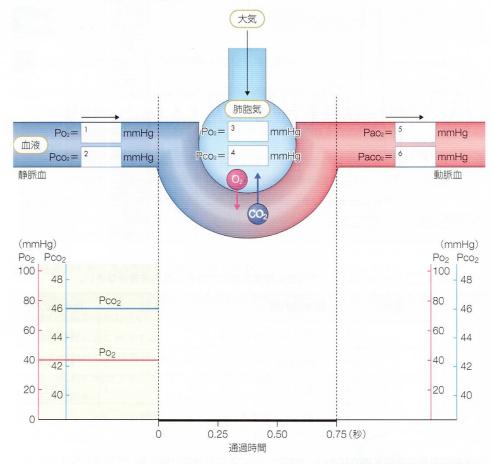
②下記の文章の空欄を埋めなさい。数値は、①の表の標準値の例を用いて計算しなさい。

- ■肺胞換気量=(8)-(9)
- )である。(9)を0.15 Lとすると、肺胞
- 換気量は(10 )Lである。
- ■毎分肺胞換気量=肺胞換気量×(11 )である。
- ■肺活量 = (12 ) + (8) + (13 )である。
- ■肺活量は通常は(<sup>14</sup> ), (<sup>15</sup> ), (<sup>16</sup> )を考慮した計算式から予測 肺活量を求め、計測された個人の肺活量が予測肺活量の何%かであらわす(17

- 評価する。(17)は(18)以上が正常とされる。

# 肺胞におけるガス交換を模式的に示した図と、ガス交換に伴うガス分圧の変化を示した グラフである。

- 1~6に適切な数値を書きなさい。
- ② Pco<sub>2</sub> と Po<sub>2</sub> のグラフを完成させなさい。



√ 系統看護学講座 117 ページ

# 5 呼吸運動の調節について説明した下記の文章の空欄を埋めなさい。

- (1 )中枢は、延髄の腹側部と背側部に存在する。さらに延髄より上の(2 ) にも呼吸性ニューロン群があり、呼吸のパターンを微妙に変化させている。
- ■延 髄 の ( 1 ) 中 枢 の 近 傍 に 存 在 す る (<sup>3</sup> ) は、動 脈 血 の (<sup>4</sup> )が上昇して脳脊髄液の pH が低下すると、興奮して呼吸中枢を刺激し、呼吸の深さと回数を促進させる。
- ■末梢の化学受容器としてはたらくのは、(5 )と(6 )である。これら末梢の化学受容器の特徴は(7 )の低下に反応することである。

√ 系統看護学講座 120~121 ページ

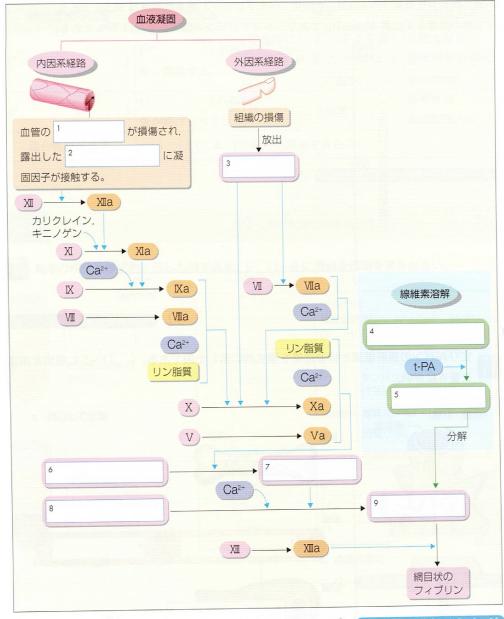
正常呼吸と病的呼吸の呼吸パターンを模式的に示した図である。 1,2 にそれぞれ の呼吸パターンの名称を書きなさい。 √ 系統看護学講座 123 ページ 血液の pH はほぼ一定に保たれている。このしくみについて説明した下記の文章の空欄 を埋めなさい。 ■血液の pH は(1 前後の弱(2 )性であり、きわめて狭い範囲で一定に保

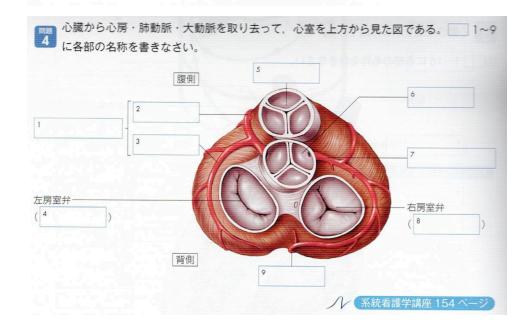
血液のpHはほぼ一定に保たれている。このしくみについて説明した下記の文章の空欄を埋めなさい。
血液のpHは(1 )前後の弱(2 )性であり、きわめて狭い範囲で一定に保たれている。つまり酸とアルカリが平衡状態にあり、このようにpHが調節されることを(3 )とよぶ。
血液のpHは、(4 )濃度と、動脈血の(5 )分圧によって決まる。
(6 )+H₂O ⇄(7 ) ⇄ HCO₃⁻+(8 )
血液のpHが7.35未満になった状態を(9 )、7.45より高くなった状態を(10 )とよぶ。
(11 )性の酸塩基平衡異常の場合は、腎臓が尿の組成を変化させることによってpHの変化を最小にするようにはたらく。これを(12 )という。(13 )性の酸塩基平衡異常の場合は、(14 )が引きおこされる。

↑ 系統看護学講座 234~235 ペーシ

問題 12

血液凝固と線維素溶解の過程を模式的に示した図である。 1~9 に適切な用語を書きなさい。

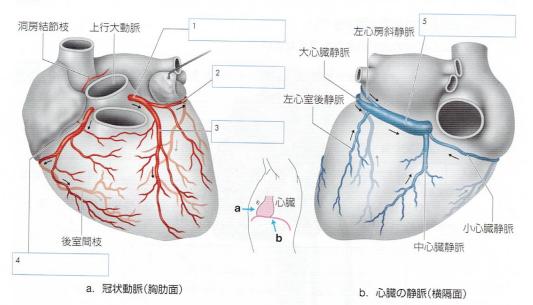




胸大動脈

√ 系統看護学講座 143 ページ

# 5 心臓の血管を示した図である。 1~5 に各血管の名称を書きなさい。



# 心臓の拍出機能

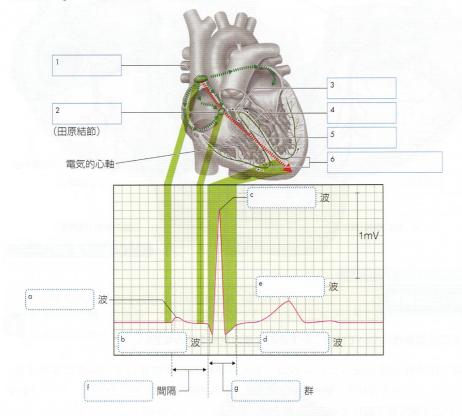
√ 系統看護学講座 解剖生理学 157~175 ページ

✓ 系統看護学講座 156 ページ

- 心臓の自動性について説明した下記の文章の空欄を埋めなさい。
- ■心臓の自動性の源となっているのは、上大静脈が右心房に開口する部位に存在する、(1 )とよばれる一群の細胞である。これらの細胞には一定した(2 )がなく、たえず脱分極を続けている。これを(3 )という。
- (1) に発した興奮は心房全体に広がり、(4) の興奮と収縮を引きおこす。右 心房下部の中隔付近に(5) とよばれる特殊な心筋細胞群があり、ここから (6) を通って興奮が心房から心室へ伝えられる。

√ 系統看護学講座 157~159 ページ

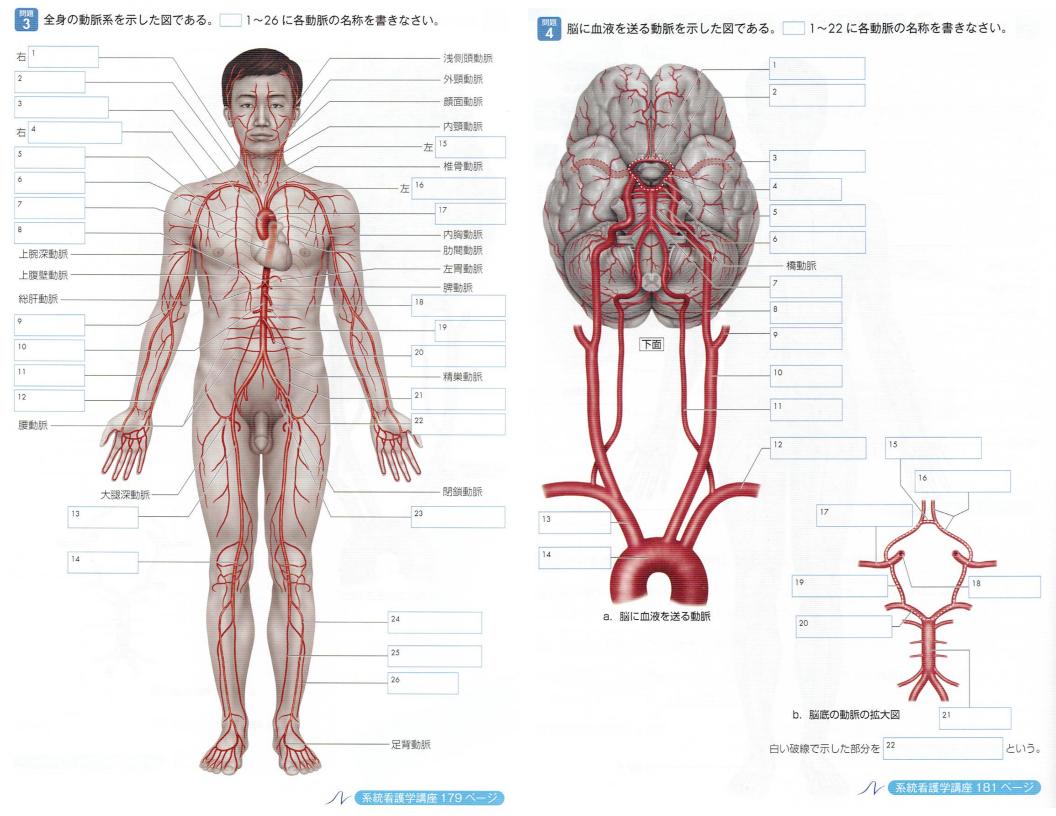
- 7 心電図と刺激伝導系の関係を示した図である。
- ① 1~6に各部の名称を書きなさい。
- ② a~g に心電図の波形の名称を書きなさい。



√ 系統看護学講座 158, 164 ページ

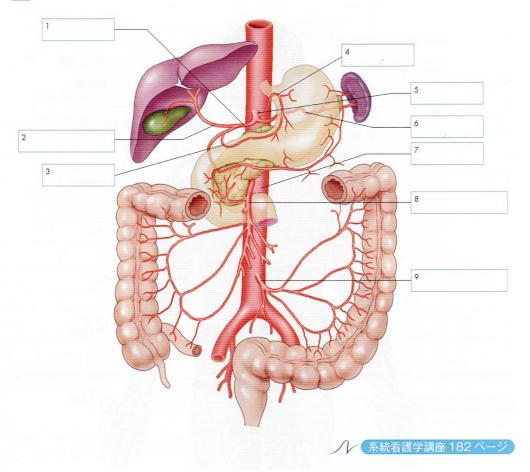
- 8 血流は、流量と圧力という2つの重要な条件を満足していなくてはならない。
- ①流量についてまとめた下記の表の空欄を埋めなさい。

血流量	定義	成人のおよその値
	左心室または右心室が1回( <sup>1</sup> )した ときに、( <sup>2</sup> )内に拍出される血液量。	
心拍数	1 分間に( <sup>5</sup> )が収縮する回数。 不整脈がなければ手首の橈骨動脈で触れる ( <sup>6</sup> )に一致する。	安静時は( <sup>7</sup> )~ ( <sup>8</sup> )回/分
心拍出量	1 分間に1 つの( 5 )が拍出する(° )量。	(10 )×(11 ) で求められ、5~7L/分





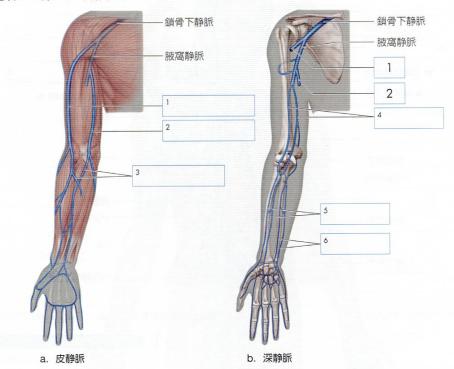
腹部消化器への動脈を示した図である。 1~9 に各動脈の名称を書きなさい。



浅側頭静脈 頸横静脈 - 顔面静脈 12 右 2 - 左 13 内胸静脈 14 - 肋間静脈 15 -左 17 精巣静脈 胸腹壁静脈 腰静脈 閉鎖静脈 浅腹壁静脈 大腿深静脈 大伏在静脈(切断) -大腿静脈(切断) 10 11 21 前脛骨静脈 後脛骨静脈

# | 上肢の静脈を示した図である。

- ① 1~6 に各静脈の名称を書きなさい。
- ②採血の際によく利用される血管を 1 つ選び、解答欄の数字に丸をつけなさい。

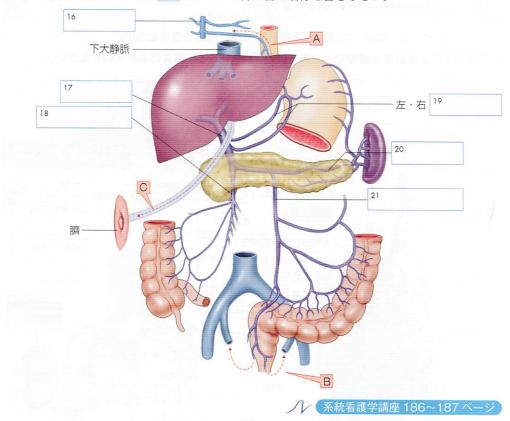


√ 系統看護学講座 186 ページ

# 門 門脈系について説明した文章と図である。

- ①門脈について説明した下記の文章の空欄を埋めなさい。
- ■門脈は、腹部の消化管と付属器官、および(¹)からの血液をすべて集めて(²)に運ぶ静脈である。
- ■(<sup>3</sup> )および上・下(<sup>4</sup> )が合流して(<sup>5</sup> )の後方で門脈となり、(<sup>6</sup> )とともに(<sup>7</sup> )から(<sup>2</sup> )に入る。(<sup>2</sup> )内で枝分かれして、肝小葉内の(<sup>8</sup> )に注ぐ。肝小葉の血液は(<sup>9</sup> )に注ぎ、そこから(<sup>10</sup> )に集まり、(<sup>11</sup> )に注ぐ。(<sup>2</sup> )には、腸管で吸収された栄養素が、門脈を通して集まる。
- ■門脈の末梢枝は、何か所かで大静脈の枝と吻合しており、これを(12 )という。右上の②の図中の A は食道静脈より(13 )への、B は直腸下部より(14 ) への、C は(15 )と腹壁皮下の静脈への(12)を示している。

②門脈系を示した図である。 16~21 に各血管の名称を書きなさい。



# 血液の循環の調節)

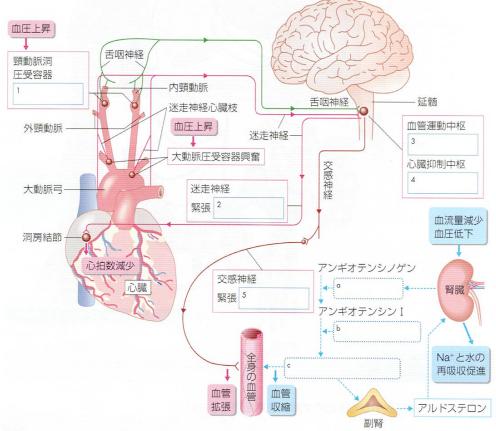
→ 系統看護学講座 解剖生理学 187~206 ページ

- | 血圧について説明した下記の文章の空欄を埋めなさい。
- ■動脈の血圧は、心室の収縮・拡張に伴って周期的に変動する。心室収縮期に血液が動脈内に 拍出されると血圧は(1 )する。血圧が最も高くなったときの値を、最 (2 )血圧または(3 )期血圧という。
- ■血圧は、心室拡張期に血液の拍出がとまるとしだいに(4)し、次の収縮開始直前に最低値となる。これが最(5)血圧または(6)期血圧である。
- ■最(2)血圧と最(5)血圧の差を(7)とよぶ。安静時の健常人の最(2)血圧の正常値は(8) mmHg 未満,最(5)血圧の正常値は(9) mmHg 未満である。

系統看護学講座 187~188 ページ

# 血圧の調節機構を模式的に示した図である。

- 1~5 に興奮・抑制・亢進・低下のいずれかの用語を書きなさい。
- ②液性因子による調節は破線で示されている。 q~c に物質の名称を書きなさい。



- ③上の図を説明した下記の文章の空欄を埋めなさい。
- ■神経による調節(実線):血圧が上昇すると、(6 と大動脈にある圧受容器が (7) し. 前者は(8) 神経を、後者は(9) 神経を介して血管運 動中枢と心臓抑制中枢に伝えられる。すると、交感神経の緊張が低下して血管が (10 ) すると同時に, (9) 神経の緊張が(11 )して心拍数が (12 )し、血圧が(13 )する。これを(14 )という。血圧の低下時 には、逆の反応がおこる。
- ■液性因子による調節(破線):さまざまな物質が血圧の調節に関与する。腎臓の血流量が減少 または血圧が低下すると. (15 )が分泌される。(15)の分泌により、最終的に (16 )が活性化され、血管収縮を引きおこして血圧を(17 )させ る。(16)は、副腎皮質にも作用して(18 を分泌させ、Na<sup>+</sup>と水の再 吸収を促進し、血圧が(19)する。

溶液中の分子やイオンなどの粒子数は Osm(オスモル) という単位であらわされる。 Osm について説明した下記の文章の空欄を埋めなさい。

■グルコースなどは溶液中で分解しないため、1 mol が(1) Osm となる。しかし塩 化ナトリウム(NaCl) は (<sup>2</sup> ) <del>と</del> (<sup>3</sup> 完全に解離したときには、1 mol の NaCl から(4 ) Osm が生じることになる。

)に電離するため.

√ 系統看護学講座 515 ページ

# リンパとリンパ管

√ 系統看護学講座 解剖生理学 206~208 ページ

リンパ系の概観を示した図である。 1~7 に各部の名称を書きなさい。

